

眼科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「感染性内眼炎（前眼部病変含む）に関する後ろ向き研究」へのご協力をお願い

眼科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：

平成元年1月1日から令和8年3月31日の間に感染性内眼炎（前眼部病変含む）による眼病変を生じた患者さんを対象としています。

研究期間：

倫理審査委員会承認日～令和9年3月31日

研究目的・方法：

感染性内眼炎は眼の中に病原体による感染が原因となって起こる病気です。また前眼部病変は結膜（しろめの表面を覆う薄い透明な粘膜）、強膜（しろめ）、角膜（くろめ）に病原体が原因となって炎症を生じる疾患を対象とします。細菌や真菌（カビ）、ウイルス、寄生虫などが直接眼に感染することもあります。網膜およびぶどう膜組織は血管が豊富で血流に富んでいるため、眼以外の臓器に発症した感染症が眼に波及する場合があります。また前眼部病変の結膜炎や強膜炎は内眼炎や角膜潰瘍の初期病巣として生じることもあります。さらに角膜潰瘍はコンタクトレンズ装用や植物などの外傷が原因となり、経過によっては眼内炎に至り時には失明してしまうこともある治療の難しい病気です。特に細菌による内眼炎あるいは前眼部病変は病状の進行が速いことが多く、早期に発見して治療を開始することが大切です。また最近では新型コロナウイルス感染あるいはワクチン接種による同様な症状がみられます。この研究は、これまでに感染性内眼炎や前眼部病変を生じた患者さんの眼症状および検査所見について、カルテに記載された内容を総合的に解析することで感染性眼内炎に対する有効な検査および初期治療法を探索することを目的としています。

研究に用いる試料・情報の種類：

患者さんの情報として、カルテに既に記載されている発症年齢、性別、患眼、職業、既往歴（感染症歴、外傷歴を含む）、ワクチン接種歴、背景疾患（口腔内疾患、糖尿病あるいは高血圧症など）、初発症状、経過観察期間中にみられた随伴症状、感染性内眼炎（前眼

部病変) 診断確定前の診断名および治療法、初診時および最終矯正視力・眼圧・前眼部・中間透光体・眼底・網膜電図・超音波 B モード・光干渉断層計・蛍光眼底造影・前眼部 OCT・自発蛍光・レーザーフレアセルメーター・視野・MP3、初回医療機関受診から診断確定までの期間、検体採取日、感染性内眼炎の原因菌種(眼内: 抗体・抗原あるいは核酸)、薬剤感受性試験結果、診断確定後の治療、病変治癒までの期間、転帰、血液検査・尿検査・髄液検査・画像検査・他科検査の記録を調べます。

研究組織:

本研究に参加する施設および担当者

岐阜大学附属病院眼科

非常勤講師

望月 清文

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して、患者さんに新たに行って頂く事項はなく費用はかかりません。本研究に関する質問、あるいは試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承頂けない場合には研究対象と致しません。その場合はお手数をおかけしますが以下の連絡先までお申し出下さい。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんのでご安心下さい。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者および研究代表者および連絡先

岐阜大学医学部附属病院 眼科

氏名: 望月 清文

電話番号 058-230-6288

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel : 058-230-6059

E-mail : rinri@t.gifu-u.ac.jp